

令和5年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立 千鳥 小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「家族の生活再発見」「家庭生活と家族」など、自分と家族の生活を見つめ直す学習では、自分の生活時間を見直し、家族に協力したり、団欒の時間を増やしたりするようになった。
- ・「ソーイング はじめの一步」では、手縫いの基礎を学び、小物作りができた。
- ・「ミシンでソーイング」では、ミシンの使い方や名称を学習し、クッション（5年）やエプロン（6年）を作ることができた。

(2) 課題

- ・クリーン大作戦ではそうじの必要性やそうじの手順を学習したが、日常生活につなげられない児童がいた。
- ・手縫いやミシン縫いの技能の差が大きく、活動時間内に終わらない児童もいたため、声かけ、家庭・地域の協力が必要である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	大田区学習効果測定のためなし		
第5学年			
第6学年			

(2) 分析（観点別）

① 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・裁縫の技能や調理についての知識は、個人差が大きい。日常生活で実践経験のある児童は、学習前から身に付いていることが多い。	・家族との生活や気候に適した生活については、経験を生かして課題を見つけることができたり、解決法を考えたりすることができた。	・どの単元でも意欲的に学習に取り組むことができた。学習したことを家庭でも実践できるように、家庭との連携が大切である。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・裁縫の技能を向上させるために、動画や図を用いて縫い方のポイントを可視化する。協同学習で、縫い方を確認し合う場を設ける。	・家族への協力、団欒の時間を大切にさせるため、自分の日常生活を振り返る場を設け、実践を通して課題解決させていく。	・家庭学習に家庭の手伝いを加えるなど、家族に協力する場を定期的に設け、家族のために役立ったという満足感や達成感を味わわせる。